★お寺によくある質問

「お焼香」について

仏事に「お焼香」は欠かせません。でも、いったい何回？どのように？など意外に分からないものです。

今回はこの「お焼香」について、浄土宗・菩提寺のお作法を紹介します。

なお、宗派や地方により、作法が異なることがあります。

①「お焼香」の回数

「お焼香」の回数は、三回、と思っている方が多いと思います。でも実は、一回、二回、三回、いずれも正しい「お焼香」です。

回数は焼香をする意味によって変わります。

＊　＊　＊　＊　＊

一回：裏表のない心で供養する。（一心）

二回：自身を清め、相手を敬う。（自利利他円満）

三回：むさぼり、怒り、愚かさの三つの煩悩を消す。またはあらゆる生き物に自身の慈悲を施す。

本堂での法事は、一回焼香をお薦めします。葬儀に参列する際は、特に指示がなければ、周りの方にあわせるか、参列者が多ければ一回焼香が良いでしょう。

②「お焼香」のお作法

まず「お焼香」をする香炉(こうろ)の前に立ち、合掌一礼をします。

←

次に、抹香(まっこう：粉状のお香)を右手の親指、人差し指、中指でつまみ、左手をそっと添えます。

←

そのまま眉間の高さ程まで頂き、思いを込めます。

←

香炉の炭に、ゆっくりお香をくべます。

←

もう一度合掌し、お念仏(南無阿弥陀仏。出来れば十遍)をお唱えし、最後に一礼をします。

③お香の種類

お焼香のお香にはいろいろ種類があります。

まず形ですが、よくお目にかかる粉状の「抹香」。木片のお香「香木」。それとおなじみの「線香」があります。

お香の素材は「伽羅(きゃら)」「沈香(じんこう)」「白檀(びゃくだん)」が代表です。

春の雅楽演奏会

春の雅楽演奏会の季節がやってきました。

今年は、数年前にご披露し、好評だった**童舞『迦陵頻』**を予定しています。鮮やかな装束を身にまとい、極楽に羽ばたく霊鳥を表すお舞をぜひお楽しみ下さい。

春の雅楽演奏会

四月九日（日）

十一時・十四時　二回公演

入場無料・特設舞台にて

今回も、**お抹茶席**や**手打ち蕎麦店**が出店します。春の境内を一緒に楽しみましょう！

迦陵頻(かりょうびん)↑

お問合せは、法蔵寺

0288-21-8220　まで。